



11月号

令和3年10月25日

横浜市立 星川 小学校

校長 羽山 悟

TEL.332-2101 FAX.331-5052

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>



## 『真ん中』

こうちょう はやま さとる  
校長 羽山 悟

街路樹を見ながら散策していると、秋風とともに金木犀の香りが健やかに漂っています。そして、色まばらな落葉も多くなってきている季節となりました。そしてまた、食欲の秋でもあります。今年、秋刀魚、鮭が不漁で、少し寂しさを感じる反面、栗が豊作だそうです。今年も素晴らしい日本の秋を、食を通して感じられそうです。



先日一年間の節目である前期終業式、後期始業式を行い、後期が始まりました。今が今年度の「真ん中」にあたる時期と言えます。「真ん中」とは、見える時間、距離、場所、順序等、そして、見ることができない心、人との距離感等も、ちょうど中央であるという言葉です。「真ん中」から見る景色は、違った角度でも物事を見ることができ、何かを発見できることもあると思います。だからこそ、まさに学年の「真ん中」である今を大切にしたいです。6年生は、この「真ん中」に付け加えたいことがあります。どんな中学生になりたいか、どんな大人になりたいか、どのような生き方をしたいかなど、自分自身の大切な考えの「真ん中」を考える時期でもあるということです。この「真ん中」から見る景色を見つめ、勇気をもって決断したり、前向きに考えたりして日々の生活を送ってもらいたいと思います。ご家庭でも、ご助言していただけるとありがたいです。

そして、コロナ禍の中、昨年以上に内容を精選した運動会を午前中開催で実施することになっています。制限のある教育活動を、教職員と一緒に、必死に守っている星の子たちを、ぜひ応援してください。きっと、星の子たちが様々な感動を見せてくれると信じています。

なかなか、やりたくてもできないことや思いが多いことかと思いますが、保護者、地域の皆さまには、今後とも星川小学校の児童を温かい目で見守り、声かけしていただけたらと思います。よろしくお願いたします。

☆6月に、5年生が米作りの学習で「もとだての米」を作っている伊藤さんとオンライン授業を行いました。山形県の本楯農業振興協議会の会報「ひこばえ」No.56に、「自分が食べているものはどこから～米作りの学習で「もとだての米」を試食～」が掲載されました。